

2023年の年明けから早くも2週間余りが過ぎました。今年も持ち越しとなった感染拡大…新年の願いは、やはり平和と健康でしょうか。2年ぶりのリサイタルも圧巻のパフォーマンスで無事に終わり、ラジオ番組も多才なゲストを迎えるなど好調です。今年も音楽が皆様の心を暖め、潤してくれますように。本年もどうぞよろしくお願いたします。



近況報告



2023年が始まりました。2001年のミレニアム、ノストラダムスの大予言から早23年、世界はどこに向かっているのかますますわからなくなっていますが、人はわかりあえても、わかりあえなくても、それぞれ現実をリアルに生きていて、時には音楽が壁を取り除いて、距離を縮めてくれることもあり、皆でこの地球で共存しているのだと肌で感じたことが、海外生活一番の経験と感じます。

去年はやっぱり自分がヴァイオリンを弾くのが大好きで、もっともっと弾いていきたいと強く思った1年でした。今年も1800年、ナポリ生まれのヴァイオリンと3年目を迎える自身のラジオ番組、そして今年は様々な形でヴァイオリンの音を発信していければと思っていますので、生の演奏を聴いて頂ければ嬉しいです。

【伊都】

第19回 加納伊都ヴァイオリンリサイタル

12月11日、去年は改修工事によりお休みした恒例のリサイタルがみなとみらい小ホールに戻ってきました。客席もロビーの絨毯も鮮やかな赤に模様替え、改修後のハプニングや演奏者のご苦労もあったようですが、聴く側としては待望の伊都さんの本格的コンサートを綺麗なホールで気持ちよく満喫しました。ピアニストは名コンビの森田義史さん、ピアノがヴァイオリンと同等の音楽的構成要素を持つフランク：ヴァイオリンソナタでは見事な掛け合いを聴かせてくれました。リサイタル選曲とみなとみらいホールについて、伊都さんから以下のようなコメントが寄せられています。

リニューアル後のみなとみらいホール、10月にホールでの試奏をするはずが、スプリンクラーの誤作動でホール全体が閉鎖され、12月11日当日わずか15分しかリハーサルをすることができませんでした。

どんな様子かわからないため、大好きなモーツァルトと得意なカルメン、そしてヴァイオリンソナタの名曲フランクのソナタと、王道の選曲をしましたが、人出の戻ったみなとみらいのクリスマスに合った華やかなプログラムにできたと思います。

1曲どうしても弾きたかったあまり日本で知られていない、ユダヤの曲(*)を小ホールに響かせられたのが私にとっては大きな収穫でした。予定外だったのは、客席の床が板張りになったため、反響は前より良くなったように感じましたが、新しく、まだ音が木に沁み込んでいないこともあり、音の響きにばらつきがあり、また調弦が狂いやすかったことです。

ホールは、演奏家に使われてこそそのものだ、これから少しずつまた変わっていくのかなと思っています。

【伊都】

(*E.ブロッホ：パール・シェムより 第2曲 ニーゲン「即興」)



いとちゃんのクラシック講座

op.31

ラジオでヴァイオリン、楽器について話すようになって、あらためて、ヴァイオリンってケアが大事な繊細な楽器だなと感じています。

これほどいろいろな要素で音が変わる楽器、そしてお金をかけようと思えば天井知らずな楽器は他にないと思います。まず、ストラディバリウスなど名器が有名絵画と同じように、数十億で取引されるのは周知ですが、弓も、負けず劣らず楽器と、自分に合ったものを探す必要があります。こちらも少なくとも車は1台買える額が相場です。そして、肩当、顎あて、駒、ペグ(弦をまくところ)、弦、弓につける松脂、楽器を拭く布、またパーツの取り付け方で音が大きく変わってきます。楽器や自分と相性のよいパーツを組み合わせ、自分仕様にするだけでも果てしない旅です。

そして年を重ねた楽器は常に環境に左右され、メンテナンスが欠かせません。今年の冬は寒く乾燥しているせいか、ステージ上で弦が狂いやすく、弦選びに苦戦しています。昨年末、私は思い切って楽器職人手作りの松脂(高級ディナーぐらいの値段)に変えてみましたが、合う曲と合わない曲があるようで、曲によって松脂を変えるべきか迷い中です。ヴァイオリンの世界はまだ奥が深いようです。

【伊都】

クリスマスコンサート in 熊谷

12月24日、ピアニスト森田義史さんのホーム、熊谷のカトリアホールで開催されたクリスマスコンサートに伊都さんがゲスト出演しました。異例の寒波襲来に雪模様のクリスマスイブとなった熊谷。以下、伊都さんの報告です。

演奏曲…ヴィヴァルディ：四季より冬 ピアソラ：ブエノスアイレスの四季より冬 カルメン幻想曲(森田君曲チョイス) ホワイトクリスマスイブの熊谷で演奏してきました。春から楽しみにしていたと言って下さったお客様が何人かおられ、嬉しかったです。



加納伊都の Close To The Violin 毎週火曜日お昼 12:30~13:00 に好評放送中!



10月18日のゲストは、伊都さんがイギリス滞在中に知り合ったりんご栽培のプロ「うたし農園」林 優孝さん。りんごの木にヴァイオリン曲を聴かせて栽培されています。とびきりの甘さと瑞々しさの秘密はモーツァルトにありました!

12月13日のゲスト、ヴァイオリニストの増村寿乃さんは、なんと、伊都さんの自宅からすぐのご近所さん。バッハ：2台のヴァイオリンのための協奏曲第1楽章、エルガー：愛の挨拶、グノー：アヴェマリアを、2台のヴァイオリンで華麗に演奏、ライブでも是非聴いてみたいコラボでした。



編集後記 みなとみらいホールでは、リニューアルオープン前にスプリンクラー事故があったり、大ホールの、2、3階席の前に設置された落下防止金網で最前列の視界が遮られ苦情が続出したとのことですが、小ホールは座席の全面更新、また天井や床が貼り替えられ、エレベーターが6階まで延びバリアフリーになるなどの変化がありました。楽屋の内装もホテルのようにお洒落になり優雅な気分になりました。またカーペットがブルーの波模様から真っ赤な波模様になりました。「えっ?波は青でしょ、何故赤に?」という疑問には、伊都さんのラジオによると、ヨーロッパではホールのカーペットや座席は赤が主流なのだとか、ゴージャスで特別な気分させてくれるのは寒色系よりも情熱の赤ということでしょうか。<ゆ>

発行：加納伊都後援会 TRAU BEN
〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台 15
TEL：045-622-6780
FAX：045-621-6423
Email：trauben@itokanoh.com
Homepage：itokanoh.com